

## 日の里団地における農業施設を通じた生きがい創出の取組み

### ～地域医療福祉拠点化（ミストコミュニティ）の推進～

UR（独立行政法人都市再生機構）では、「多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちづくり」を目指し、団地を中心として、住み慣れた地域で最期まで住み続けることができる環境（Aging in Place）を実現するため、地域医療福祉拠点の形成を目指し、以下の取組みを、地方公共団体・自治会等の地域関係者等と連携して総合的に推進しております。

- ① 地域における医療福祉施設等の充実の推進
- ② 高齢者等多様な世代に対応した居住環境の整備推進
- ③ 若者世帯・子育て世帯等とのコミュニティ（ミストコミュニティ）形成の推進

日の里<sup>ひさと</sup>団地（福岡県宗像市<sup>むなかたし</sup>）でも平成 27 年 12 月から宗像市や地域関係者等と連携して地域医療福祉拠点化に取り組んでいるところです。

この度、当団地において高齢者や若年世帯、子どもも一緒になって取組める機会を提供するために「食と農」をテーマに東レ建設(株)と連携した試行的な取組み「(仮称)団地の農場 日の里ファーム」を開始することとしました。

〔農業施設（栽培ベッド）の設置例〕



お問い合わせは下記へお願いします。

独立行政法人都市再生機構九州支社

住宅経営部 ストック再編事業チーム

（電話）092-722-1045

総務部 総務チーム

（電話）092-722-1004

## 1 取組み「(仮称) 団地の農場 日の里ファーム」の概要について

団地内空地等を活用した生きがい創出と、それを軸にしたミクストコミュニティ形成を目指し、以下の試行的な取組みを開始することとしました。

- ① 農業施設を整備（日の里団地内の空地約 500 m<sup>2</sup>）
- ② 野菜栽培の参加員組織の設立
- ③ 野菜栽培体験や朝市など、食を通じたコミュニティ活性化イベントの開催
- ④ 上記②③により高齢者の外出機会や生きがいの創出、子どもの農業体験の機会を提供

上記の取組みにより生まれた、高齢者と若年世帯、子どもも含む新たなコミュニティを通じて、居住者間での緩やかな繋がり、互助など居住者が主体となった団地の活性化が図られることにより、団地において多様な世代が新たな住まい方を実現できることを目指します。



〔農業施設「トレファーム®」の例〕



〔収穫の様子イメージ〕

## 2 農業施設と実施体制について

この農業施設は、東レ建設(株)のトレファーム®(高床式砂栽培農業施設)を採用しており、高齢者でも腰をかかめずに作業ができることや、特別な農具や機材を必要としないことから、誰でも安全かつ安心して農作業に参加できます。

現地体制は東レ建設(株)を中心に、東レ建設(株)による業務参画依頼を受けた(株)グリーンファーム及び日本総合住生活(株)と連携し、野菜栽培の体験や食に関連したイベント等の取組みを実施していきます。

## 3 今後の予定について

農業施設は4月中旬に完成し、6月にオープニングイベントを開催する予定です。

また、それまでの間は、野菜の栽培見学・体験会等を開催し、参加員組織への参加者を募集し、本格的に収穫が始まる6月頃からは「朝市」等を定期的で開催する予定です。

なお、この農業施設で収穫した野菜は、日の里地区コミュニティ運営協議会が平成28年度にJR東郷駅前の空き店舗において開設を予定するコミュニティサロンにおいても販売することを、同協議会と協議しております。

(参考) 宗像市日の里地区の区域図



※ 日の里地区は、日の里中学校区の範囲であり、日本住宅公団（現UR都市機構）の土地区画整理事業により昭和40年代に開発された217.7haの大規模住宅地です。